

VOL.

01

## プロジェクトマネージャー虎の巻

プロジェクトで  
**つまずきやすい**  
**ポイント**を押さえる

運用編 — 状況把握 —



目次

## Table of Contents

- 01.** 運用における状況把握の重要性
- 02.** プロジェクト運用で重要な項目
- 03.** 状況把握の方法
  - 03-1.** ツールやシステムを使った把握
  - 03-2.** 人間の目での把握
  - 03-3.** データの収集方法
- 04.** Lychee Redmineでの状況把握

# 01. 運用における状況把握の重要性

プロジェクトの状況把握は、プロジェクト目標を達成するために非常に重要です。  
プロジェクトマネージャーは、状況を正確に把握し、問題を早期に発見して対処することができるように、確認体制を整えておきましょう。  
プロジェクトを運用するうえでは、以下のことが大切だといえます。



## 進捗状況の確認

マイルストーンやタスクの完了状況などの指標を使用することができます。  
これはリスクマネジメントに繋がり、問題や課題が早期に発見でき、適切な対策が講じられることで、プロジェクトの成功に繋がります。



## リスクマネジメント

プロジェクトマネージャーは、プロジェクトがスケジュールに遅れている、予算を超過している、品質が低下している、リスクが高まっているなどの問題を早期に検出し、対策を取る必要があります。



## コミュニケーションの改善

プロジェクトメンバー間の報告やプロジェクトマネージャーとステークホルダーのコミュニケーションの改善などが含まれます。プロジェクトメンバー間のコミュニケーションを促進するために、週次の進捗報告会議を実施するなどの方法があります。  
また、プロジェクトマネージャーは、ステークホルダーとのコミュニケーションを改善し、プロジェクト目標を達成するために必要な資源を取得することができます。

## 02. プロジェクト運用で重要な項目

プロジェクトマネージャーが重視すべき、特に重要な項目は**スコープ**、**スケジュール**、**コスト**、**品質**です。  
これらの項目にリスクが発生した場合は早期に発見・重要度や影響範囲を特定し対応できるようにする必要があります。



### スコープ

プロジェクトの目標を明確にし、スコープがコントロールされているかを確認し、スコープクリープ(要件変更による増大)を防止します。**ステークホルダーとの適切なコミュニケーションや要件の明確化、変更管理の実施**などが重要です。



### スケジュール

納期遅れを防ぐためには、スケジュールと照らし合わせた進行状況の把握が必要です。  
**完了した作業量や未完了の作業量、達成されたマイルストーン**などを定期的に評価します。



### 品質

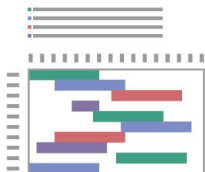
クライアントから求められる品質を確保するために、品質管理プロセスを実行する必要があります。  
例えばシステム開発の現場では**コード品質**、**テスト品質**、**データ品質**などの観点から評価します。



### 予算

プロジェクト予算を実際の費用と比較して、**プロジェクトが予算内で進行しているかどうかを確認し、必要な場合はコスト削減策を検討**することができます。予算の管理により、財政的なリスクを軽減することができます。

## 03. 状況把握の方法



### ガントチャートの使用

ガントチャートは、プロジェクトのスケジュールをビジュアル化するためのツールです。このツールを使用することで、進捗状況やスケジュール遅延を簡単に確認することができます。



### ツールやシステムの使用

プロジェクト管理ソフトウェアやタスク管理ツール、コラボレーションツールなどを使用することで、プロジェクトの進捗状況を見える化することができます。これらのツールは、チーム内のコミュニケーションを促進することや、タスクの優先度を設定することができるなど、プロジェクト管理に役立ちます。



### レポートの作成とレビュー

プロジェクトの進捗状況を定期的にまとめたレポートを作成し、関係者にレビューしてもらうことがあります。これによって、問題や課題を早期に発見し、解決策を立てることができます。



### チームミーティング

プロジェクトチームでの定期的なミーティングを行うことで、進捗状況や課題を共有することができます。また、意見や情報を交換することによって、問題を早期に解決することができます。

## 03. 状況把握の方法

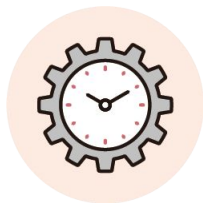
### 03-1. ツールやシステムを使った把握

ツールやシステムは、リアルタイムでデータを収集し、重要な情報を自動的に抽出することができます。また、異常を検出した場合には、自動的に警告を発することができるため、迅速な対応が可能となります。



#### プロジェクト管理ツール

プロジェクトのタスク、スケジュール、進捗状況を管理し、プロジェクトメンバーのコラボレーションをサポートする機能を備えています。プロジェクトの進行状況をリアルタイムで把握し、問題が発生した場合には素早く対応することができます。ガントチャート機能を保持しているツールも多数あります。



#### タイムトラッキングツール

プロジェクトメンバーの作業時間を追跡し、プロジェクトの予算やスケジュールに合わせて作業時間を最適化することができます。また、プロジェクトの進行状況を把握するためにも役立ちます。



#### インシデント管理システム

プロジェクトの問題やトラブルシューティングを追跡し、解決策を見つけるためのフレームワークを提供します。プロジェクトの進行状況を透明化し、問題を迅速かつ効果的に解決することができます。



#### ダッシュボードツール

プロジェクトのKPI(主要業績評価指標)を視覚化し、プロジェクトの進行状況を簡単に把握することができます。これにより、プロジェクトメンバーは、問題を発見し、迅速に対処することができます。

他にも、セキュリティ監視システムやネットワーク監視ツールなど、さまざまな種類のモニタリングツールやシステムがあります。これらのツールやシステムを使用することで、プロジェクトのリスクを効果的に監視し、問題を早期に発見し、迅速な対応が可能となります。



自分の  
判断力や経験を  
活かすことが重要

ただし、ツールやシステムに頼りすぎることは避けるべきです。プロジェクトマネージャーは、ツールやシステムが提供するデータを適切に解釈する能力が必要であり、自分の判断力や経験を活かすことが重要です。

## 03. 状況把握の方法

### 03-2. 人間の目での把握

プロジェクト管理者や関係者が実際に現場を見て、状況を把握することもとても重要です。現場の状況を直接把握できるため、問題が発生した場合に迅速に対応することができます。また、現場でのコミュニケーションや相互作用を見ることで、プロジェクトメンバーの動きを把握し、効率的なプロジェクト遂行につながります。



具体的には、プロジェクト管理者や関係者が定期的に現場に出向き、進捗状況や品質管理、安全性などを確認します。作業者や関係者との対話を通じて、意見交換や問題点の共有を行い、改善策を検討します。

人間の目による状況把握は、情報の正確性が高く、問題が発生した場合にも適切な対応が可能です。しかし、現場に出向くことができる人数や頻度に限りがあるため、プロジェクト全体の状況を把握するには限界があります。

また、プロジェクト管理者や関係者の時間やコストがかかるというデメリットもあります。ツールやシステムとを組み合わせることで、より効率的なプロジェクト管理を行うことが求められます。

#### メリット

- 情報の正確性が高い
- 問題が発生した場合にも適切な対応が可能

#### デメリット

- プロジェクト全体の状況を把握するには限界がある
- プロジェクト管理者や関係者の時間やコストがかかる



## 03. 状況把握の方法

### 03-3. データの収集方法

では、具体的にプロジェクト状況を把握するため、情報やデータを収集する方法の代表例を見ていきましょう。



#### 進捗状況の収集

定期的に**報告書を作成**することで収集することができます。  
また、**タスクやアクティビティの完了状況を記録**するためのツールやソフトウェアもあります。



#### リスクの収集

リスクマネジメント計画を使用して収集することができます。  
**リスクの特定、評価、および対応策の実装**に必要な情報を収集します。  
プロジェクトの問題点を追跡し、早期に解決策を見つけることも重要です。



#### 費用の収集

**予算の作成**や**請求書、請求書の処理**などを通じて収集することができます。また、経費の明細書や領収書を提出してもらうことで、**詳細な費用データ**を収集することもできます。



#### コミュニケーションの収集

**スケジュールされた会議、進捗報告、問題報告**、およびその他のコミュニケーションチャネルを介して収集することができます。プロジェクトのステークホルダーと頻繁にコミュニケーションを取ることで、プロジェクトの成功に必要な情報を収集することができます。



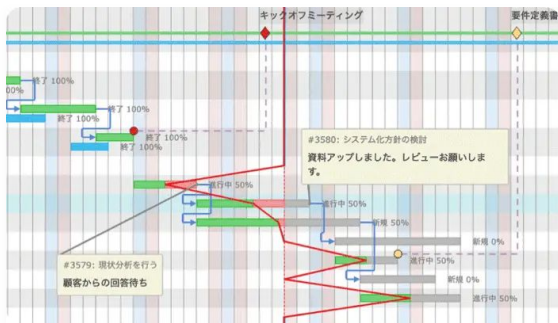
#### 品質の収集

品質基準を定義することで、**品質チェックリスト**や**品質管理計画**を使用して収集することができます。また、**顧客からのフィードバックやクレームを集める**ことも、品質の収集に役立ちます。

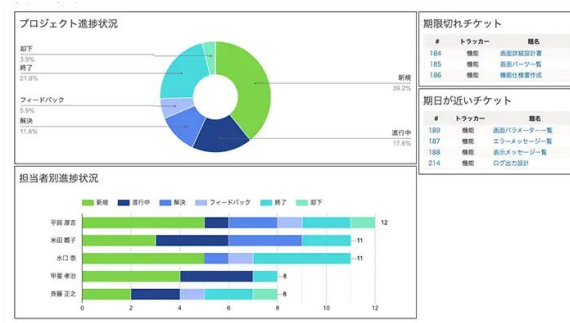
# 04. Lychee Redmineでの状況把握

プロジェクト管理ツール「Lychee Redmine」には、状況把握に使用できる機能が揃っています。「ガントチャート」や「ダッシュボード」で日々の進捗を確認しましょう。複数のプロジェクトを抱えている方は「プロジェクトレポート」での確認がおすすめです。

## 01. 直感的に操作できる 多機能なガントチャート



## 02. プロジェクトの進捗を 手軽に確認できるダッシュボード

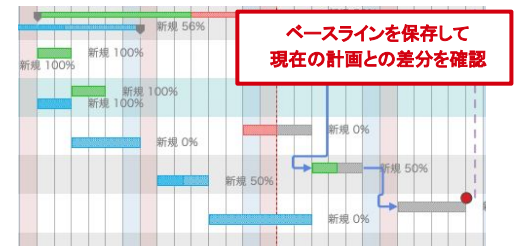
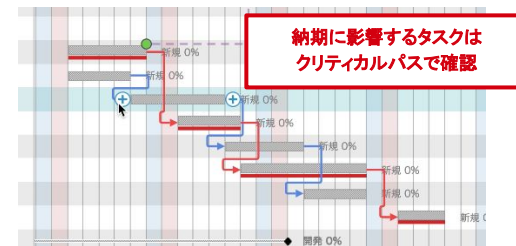
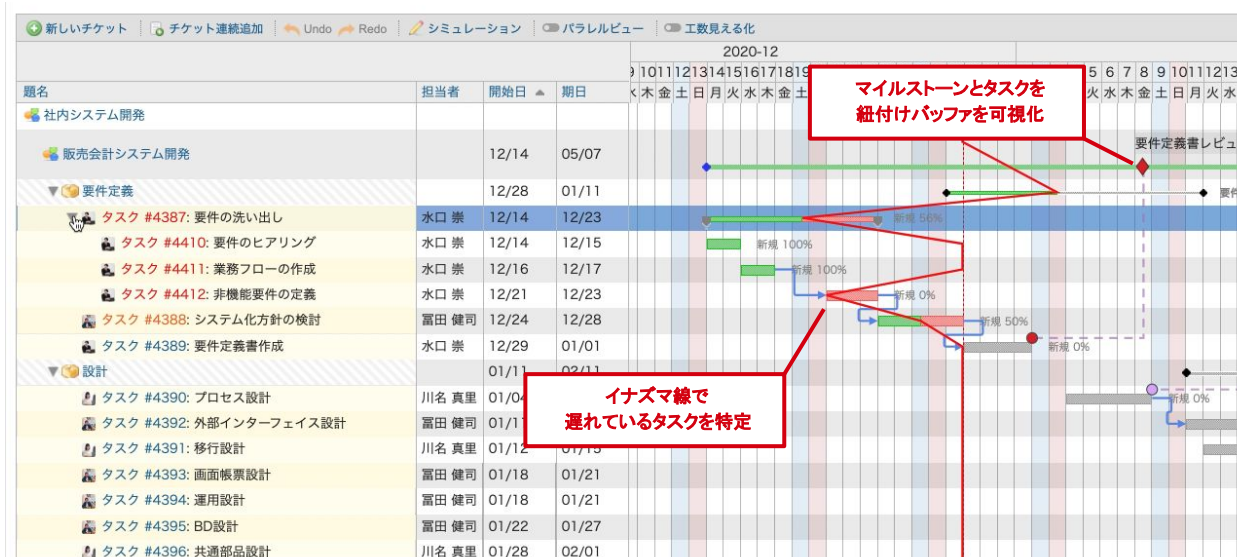


## 03. 複数プロジェクトを横断して QCDを可視化できるレポート

バージョン	タスク消化率	不具合消化率	計画作業時間消化率	チケット期日からの遅延日数	テスト欠陥検出率	予算コスト予想
	40.79%	20.39%	92.2%	18	—	5,000,000
第1リリース	0%	0%	5.09%	18	—	13,216,745
第2リリース	0%	0%	5.09%	18	—	5,000,000
第3リリース	0%	0%	5.09%	18	—	13,216,745
						1,000,000

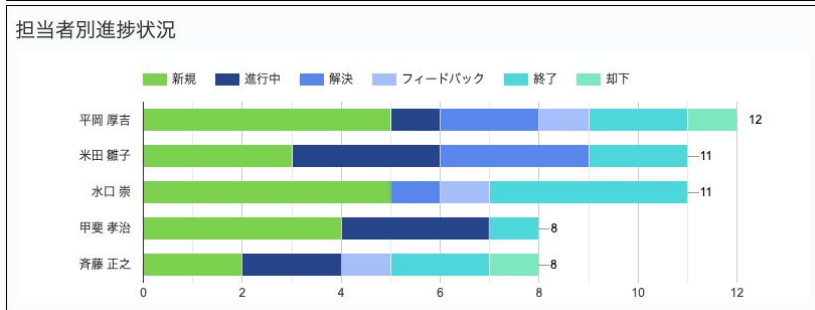
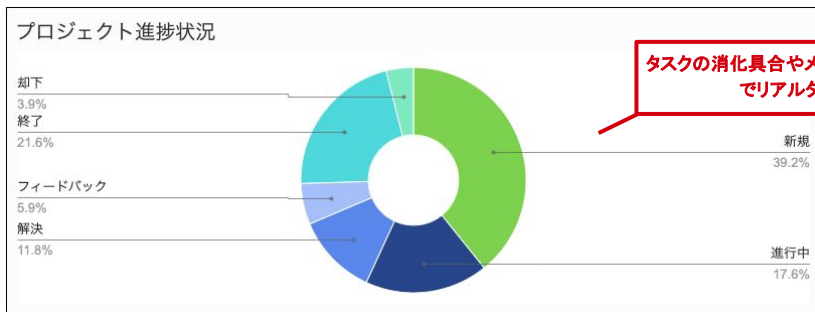
## 04. Lychee Redmineでの状況把握 - ガントチャート -

多機能なガントチャートで、面倒な情報収集なく、マイルストーンやタスクの完了状況などをリアルタイムに可視化します。その他にも、イナズマ線、クリティカルパス、ベースライン比較など、豊富な機能により、複雑なプロジェクトの進捗もひと目で把握できます。



## 04. Lychee Redmineでの状況把握 - ダッシュボード -

日常的な状況把握にはダッシュボードが便利です。  
作業の進捗がグラフと一覧で可視化され、手軽にプロジェクトの進捗を確認できます。



### 期限切れチケット

期限切れチケット / 期日が近いタスクを一覧で表示し、作業漏れを防止

#	トラッカー	題名	担当者	期日
184	機能	画面詳細設計書	甲斐 孝治	2022-01-20
185	機能	画面パーツ一覧	甲斐 孝治	2022-01-21
186	機能	機能仕様書作成	平岡 厚吉	2022-01-24

### 期日が近いチケット

#	トラッカー	題名	担当者	期日
189	機能	画面パラメーター一覧	米田 隆子	2022-01-28
187	機能	エラーメッセージ一覧	斉藤 正之	2022-01-28
188	機能	表示メッセージ一覧	斉藤 正之	2022-01-31
214	機能	ログ出力設計		2022-02-01

## 04. Lychee Redmineでの状況把握 - プロジェクトレポート -

プロジェクトレポートを使えば、複数のプロジェクトをまとめて確認できます。

「進捗」「品質」「コスト」の指標がシグナルで表示され、直感的に状況を把握できます(赤:危険、黄:注意、青:良好)。

各指標は自由に作成でき、各社に合ったレポートを用意できます。

### プロジェクトレポート

プロジェクトレポート設定 共通レポート設定 指標設定

→ カスタムクエリ

▼ フィルタ

プロジェクトのステータス

等しい ▼

有効 ▼

フィルタ追加

→ 表示する項目

適用  クリア  保存

指標は自由に  
カスタマイズが可能

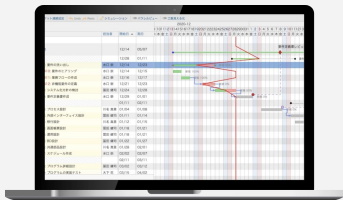
プロジェクト	マネージャー	タスク消化率	作業時間消化率	チケット期日からの 遅延日数	バグ消化率	テスト密度	バグ密度	予算
								コスト予想
販売会計システム開発	大城 忠義	133.2%	88.7%	0	86.7%	76.85	0.05	3,400,000
携帯電話向けゲームアプリの開発	重田 登	92.9%	77.2%	10	81%	40.18	1.2	4,625,000
議事録管理システム開発	水口 崇	90.6%	84.6%	18	83.3%	69.34	0.04	4,750,000
新規事業システム開発	大橋 宏行	83.5%	64.7%	18	58.3%	85.86	3.43	3,500,000
基幹システム開発	大橋 宏行	73.2%	92.6%	14	47.59%	61.48	0.08	2,892,500
行政アプリの開発	甲斐 孝治	67.5%	100.6%	18	63.2%	26.72	1.01	5,000,000
商品管理システム開発	宮本 吉之助			17	60%	58.79	1.6	2,250,000
								1,500,000
								2,500,000
								1,158,900

複数プロジェクトの状況を  
シグナル表示

プロジェクト管理をより本格的に行いたい企業様は、ぜひLychee Redmineをご利用くださいませ。  
他のお役立ち資料も貴社のプロジェクト管理に貢献できれば幸いです。

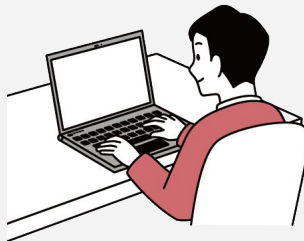
最後までご覧いただき、ありがとうございました！

Lychee Redmine  
30日間無料お試し



[無料体験版を  
今すぐ試す](#)

お役立ち資料



[お役立ち資料はこちら](#)

もっと詳しく



[Webサイトを見る](#)



株式会社アジャイルウェア  Agileware

アジャイルウェアホームページ: <https://agileware.jp/>

LycheeRedmine導入のご相談: <https://lychee-redmine.jp/contact/>

お問い合わせ先: <https://agileware.jp/contact/other-form/>